

事務事業	9011	発達障害児等支援ネットワーク構築事業	担当課 課長	福祉課 藤野 和博	担当係 担当者	福祉係 平山 聡彦
計画 画期 体計 系画	施策	05 子どもを安心して生み育てることができるまちをつくる	予 算 科 目	会 計 款 項 目		
	取り組み方針	140 子育てに関する情報提供や相談・交流できる環境をつくる		基本事業		
法令根拠条例等			個別計画			
実施期間	□28年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返		H25 年度より開始		□期間限定(複数年) 年度～ 年度	

【事業の目的・内容】(改行は、「Alt」+「Enter」で行ってください)	<input type="checkbox"/> 2次評価会議に提出します (左にチェックを入れる)
発達が気になる子どもに対して継続的な支援が行えるように、発達支援に関わる町の関係課(福祉課・子育て支援課・学校教育課・健康課)と「powerful kids子ども発達センター」で定期的に会議(通称:四課会議)を行っている。 また、発達が気になる子どもの就学前から就学へのスムーズな移行のために、「powerful kids子ども発達センター」と共催で、子どもの支援に関わる関係機関(幼稚園、保育園、小学校、サービス事業所、行政関係課)のネットワーク構築を目的とした「発達支援ネットワーク研修会」を開催する。	
【業務内容(町職員の仕事内容)】(改行は、「Alt」+「Enter」で行ってください)	
四課会議の開催	
発達支援交流会の開催	
千円 千円 千円 千円 千円	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動) 28年度に行った主な活動(※箇条書きで記入) 四課会議の開催 発達支援ネットワーク研修会の開催	⇒	④ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)				
		指標数値				
		名称	単位	27年度	28年度	29年度
		ア 4課会議開催回数	回	2	1	4 (見込)
		イ 研修会開催回数	回	0	0	1 (見込)
		ウ				(見込)
② 対象(誰、何を対象にしているのか) 発達の気になる子ども 発達支援ネットワーク研修会参加者	⇒	⑤ 対象指標(対象の大きさを表す指標)				
		指標数値				
		名称	単位	27年度	28年度	29年度
ア 障がい児数(知的)	人	76	85	85 (見込)		
イ 研修会参加人数	人	0	0	0 (見込)		
ウ				(見込)		
③ 意図(この事業で、対象をどのような状態にしたいのか) 発達が気になる子どもについて関係機関が情報を共有し、ネットワークを構築することによって就学後の支援がスムーズに行え、対象者の不安や困り感を減少させる。	⇒	⑥ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)				
		指標数値				
		名称	単位	27年度	28年度	29年度
		ア ネットワークの構築により関係機関で情報が共有できた子どもの人数	人	目標 -	-	-
		イ アンケートで発達支援ネットワーク研修会が役立ったと答えた参加者数	人	目標 45	45	45
		ウ アンケートで発達支援ネットワーク研修会が役立ったと答えた参加者の割合	%	目標 100.0	100.0	100.0
		エ		目標		
		オ		目標		

(2) 総事業費の推移

事業費	財源内訳(千円)		27年度 (決算値)	28年度 (当初予算)	28年度 (決算値)	29年度 (当初予算)	30年度 (計画)	31年度 (計画)
	経費	国・県支出金、地方債等						
		受益者負担等						
		一般財源						
		合計(A)	0	0	0	0	0	
		(内臨時・嘱託職員人件費)						
		正職員人件費[按分](B)	195	717	665	1,055		
	トータルコスト(A)+(B)	195	717	665	1,055	0	0	

事務事業評価表(事業実施年度:平成28年度)

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

<p>① 事務事業を開始したきっかけは何ですか?いつ頃どんな経緯で開始されましたか?</p> <p>平成22年度から幼・保・小・パワフルキッズ・関係課で「発達支援交流会」を開催していたが、学校教育課と協議し、個別情報交換部分は発達支援交流会として学校教育課で行い、福祉課は「powerful kidsこども発達センター」と共催で関係機関のネットワーク構築を目的とした研修会を平成25年度より行う事とした。また、子どもへの継続的な支援を協議するために、平成26年度から関係課と「powerful kidsこども発達センター」による四課会議が行われるようになった。</p>	<p>② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化していますか?</p> <p>発達の気になる子どもとその家族にとって、幼稚園・保育園から小学校への就学は大きな壁となっており、受け入れる小学校側も情報が少なく、対応に苦慮している。以前に比べると保護者側からも子どもについての情報提供に抵抗がなくなりつつある。</p>	<p>③ 事務事業に対して関係者からどんな意見や要望が寄せられていますか?(誰からの意見か明記)</p> <p>発達の気になる子どもの支援には、学齢により複数の機関が関わるため、情報共有がしづらいという意見が関係機関からある。</p>
--	---	---

(4) 昨年度の評価結果の取り組み状況調べ

昨年度の事務事業評価結果		28年度の取り組み状況と今後の方針	
事業の方向性	平成28年度の取り組み概要及び期待される効果	実施状況	実施できなかった理由と今後の方針
<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 目的の見直し <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 事務事業終了 <input type="checkbox"/> 現状維持・継続	<p>当面は、4課会議において継続した支援を行うための仕組みづくりを協議していき、新たな取り組みとして固まった時点で、周知のための研修会を開催したい。</p>	<input type="checkbox"/> 記述どおり実施できた(コメント必要ありません) <input checked="" type="checkbox"/> 一部実施できた(理由→) <input type="checkbox"/> 実施できなかった(理由→)	<p>会議の開催を予定どおりに行うことができなかったため、方針を協議することしかできなかった。今後は、具体的な運用のやり方を協議したい。</p>

2 評価(SEE)及び全体総括の部 * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

(1) 評価

	評価の理由
<p>① 上位施策への貢献度は大きいですか? ※総合計画を参照してください</p> <input checked="" type="checkbox"/> 貢献度大きい(理由→) <input type="checkbox"/> 貢献度ふつう(理由→) <input type="checkbox"/> 貢献度小さい(理由→)	<p>発達の気になる子どもに対して、就学前・就学後にも継続的な支援を行う体制づくりは、施策の取り組み方針と一致している。</p>
<p>② 税金を使って達成する目的(対象と意図)ですか? (事業の目的は、総合計画の町の役割や基本方針に合っていますか?)</p> <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である(理由→) <input type="checkbox"/> 妥当性が低い(理由→)	<p>会議及び研修会開催のみのため事業費は発生しない。</p>
<p>③ 成果がこれ以上向上する余地(可能性)はありますか?</p> <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上余地がある(理由→) <input type="checkbox"/> 成果向上余地がない(理由→)	<p>継続的な支援を行う体制を構築することにより、学齢期により支援機関が替わっても支援をスムーズに行うことができる。</p>
<p>④ 廃止・休止した場合、成果への影響はありますか?</p> <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり(理由→) <input type="checkbox"/> 影響なし(理由→)	<p>発達の気になる子どもに対して、就学前・就学後にも継続的な支援を行う体制づくりは今後も必要であり、廃止すると継続的な支援が望めない。</p>
<p>⑤ 現状の成果を落とさずにコスト(予算+事務従事時間)を削減する新たな方法はありますか?(広域連携や民間委託等の導入など)</p> <input type="checkbox"/> ある(具体的な内容→) <input checked="" type="checkbox"/> ない(理由→)	<p>継続した支援を行う体制を構築するために、今後新たな予算が必要になる可能性がある。</p>

(2) 28年度を振り返って(全体総括・反省点)

<p>4課会議において継続した支援を行うための仕組みづくりについて検討していくという方向性は決まったが、会議の開催を予定どおりに行うことができなかったため、方針を協議することしかできなかった。今後は、具体的な運用のやり方を協議していきたい。</p>
--

3 今後の方向性(29年度以降の計画と30年度予算への反映)(PLAN)

<p>(1) 今後の事業の方向性(複数選択可)</p> <input type="checkbox"/> 廃止・休止(理由→) <input type="checkbox"/> 目的の見直し(内容→) <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上)内容→ <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減)内容→ <input type="checkbox"/> 事業終了 <input type="checkbox"/> 現状維持・継続	<p>(2) 平成29年度以降に取り組む内容と期待される効果</p> <p>発達が気になる児童に関わる様々な機関同士がスムーズに連携できることを目指して、当面は、4課会議において継続した支援を行うための仕組みづくり(関係機関が連携するためのツールづくりとその運用方法)を協議していきたい。</p>
--	--